

2011年映像情報メディア学会年次大会開催概要

社団法人 映像情報メディア学会

2011年映像情報メディア学会年次大会を、2011年8月24日(水)～26日(金)に、成蹊大学において開催します。本大会は多岐にわたる専門分野の人々が一堂に会し、発表・討論等を通じてそれぞれの立場から意見を交換します。魅力ある公開講演会(無料)や公開市民講座(無料)、意欲的なシンポジウムも同時に開催、沢山の皆さまの参加を歓迎します。

【会 期】 2011年8月24日(水)～26日(金)

【会 場】 成蹊大学 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
総合受付、一般講演・シンポジウム：8号館3、4階 公開講演会・公開市民講座：4号館ホール

8月25日(木)17:10(予定)より懇親会を開催いたします。

場所：学生食堂 会費：1,000円

★座談会『アナログ放送技術者による創世記振り返りのお話』を企画。

【申込・問合先】

(社)映像情報メディア学会 年次大会係
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
TEL. 03-3432-4677 FAX. 03-3432-4675
ホームページ：<http://www.ite.or.jp/> E-mail：gyoji@ite.or.jp

【アクセス情報】 <http://www.seikei.ac.jp/gakuen/access.html>

- ・JR中央線・総武線(東京メトロ東西線)・京王井の頭線 吉祥寺駅下車
吉祥寺駅北口バスのりば1・2番より関東バスで約5分／成蹊学園前下車
吉祥寺駅より徒歩約15分
- ・西武新宿線 西武柳沢駅下車
駅南口より関東バス(吉祥寺駅行き)で約20分／成蹊学園前下車

◆今大会注目の企画◆

★公開講演会(聴講無料)

『地上波テレビ放送 ～アナログの栄光とデジタルの期待～』

8月25日(木)13:00-15:50 4号館 ホール

アナログテレビ放送の開始(国内では1953年)から60年弱が経過し、この間人々の生活はテレビ放送により大きく変わりました。7月のアナログ停波を機に、その栄光と進歩の歴史を振り返ります。またアナログ停波は、完全デジタル化の始まりでもあり、テレビのハイビジョン化や双方向化、家電需要の創出をもたらすなど、これも社会に与える影響は極めて大きいと思われます。そこで、デジタル化の現状と将来展望についてご専門の方々にご講演いただきます。

【プログラム】

司会：加藤久和(NHK)

- (1) 地上デジタル放送の海外普及活動で見えてきたこと

- 山田 幸 (早大) 13:00-13:25
 (2) EDTV から紐解く映像信号の進歩
 吹抜敬彦 (イメトピア研究室) 13:25-13:50
 (3) 映像記録の進歩〜家庭用ビデオも高柳先生から始まった
 小林正明 (大阪工大) 13:50-14:15
 (4) デバイスの進歩〜HARP 撮像管の発明
 谷岡健吉 (高知工科大) 14:35-15:00
 (5) 地上テレビ放送のデジタル化, アナログ放送終了へ向けた取り組み
 久代雄一郎 (NHK) 15:00-15:25
 (6) VHF-Low 帯のマルチメディア放送
 高田政幸 (NHK) 15:25-15:50
 ※他の講演を聴講される場合は, 通常の参加受付が必要となります。

★公開市民講座 (聴講無料)

『放送技術の発展と進化 〜東日本大震災の報道を支えた放送技術』

8月25日 (木) 16:00-17:00 4号館 ホール

1925年にラジオから始まった日本の放送は, 1953年のテレビ放送開始, 1984年の衛星放送開始など発展を続け, この7月にはテレビのデジタル化を果たしました。本講座では, 人々の最も身近なメディアとなった放送の発展に, NHK がどのように寄与してきたか, またこれからどう発展していくのかを技術開発の立場から述べ, さらに, 東日本大震災において, 放送技術が果たした役割についても言及します。

【講演者】 永井研二 (日本放送協会 専務理事・技師長, 映像情報メディア学会前会長)
 【後援】 成蹊大学

※他の講演を聴講される場合は, 通常の参加受付が必要となります。

◆シンポジウム1

『体感, インタラクティブメディア』

8月24日 (水) 9:30-12:30 8号館 4階 第1会場

体全身をセンサとするゲームの出現, 3D映像と触覚を併用したメディアの進展に見られるように, 身体を利用するメディアの発展は昨今著しくなっています。そこで, 本企画では, 話題の体感, インタラクティブメディアに関連する技術について多方面からご講演をいただき, 将来のメディアの方向性を探ります。

【プログラム】

司会: 佐藤 誠 (東工大)

S1-1 VR世界と体感インタラクション 35分
 佐藤 誠 (東工大)

S1-2 実世界指向ゲームインタラクション技術の歴史, フィロソフィ, そして近未来
 白井暁彦 (神奈川工科大) 35分

S1-3 表現のためのインタラクティブ技術 35分
 稲見昌彦 (慶大)

S1-4 触覚メディアの可能性と課題 35分
 篠田裕之 (東大)

S1-5 触覚エンタテインメント 35分
 梶本裕之 (電通大)

◆シンポジウム2

『テレビとネット動画～共存か競合か～』

8月24日(水) 14:00-17:00 8号館 4階 第1会場

Over The Top と呼ばれるインターネット動画のテレビ世界への進出と、3Screen と呼ばれる放送の PC・携帯端末世界への進出で、まさに映像メディアサービスが急展開する状況のその一方で、放送・通信連携/融合が叫ばれています。放送デジタル化完了元年である記念すべき2011年が、映像メディアサービスの今後を占う重要な年となりそうです。本企画では、事業的視点と技術的視点から今後の映像メディアサービスの方向性を探ります。

【プログラム】

司会：松本修一（日本ケーブルラボ）

S2-1 テレビとネット動画～共存か競合か～ 総論 30分
北 俊一（野村総研）

《事業的視点》

S2-2 放送からの視点と提案 30分
加藤久和（NHK）

S2-3 通信からの提言 30分
宮地悟史（KDDI）

《技術的視点》

S2-4 放送と通信のミドルウェアプラットフォーム 30分
山下良蔵（iTec）

S2-5 HTML-5(Web on TV) 30分
小林雅一（KDDI 総研）

S2-6 次世代ケーブル STB 30分
松本 檀（日本ケーブルラボ）

◆シンポジウム3

『ソーシャルネットワークとソーシャルテレビサービス』

8月25日(木) 9:30-12:10 8号館 4階 第1会場

ソーシャルネットワークサービスは、インターネット時代の新しいサービスとして急速に普及しており、ユーザーが自ら情報を発信し、それを多くの人々が共有する、またそれをきっかけに新しいつながりが誕生するという新たなメディアとして注目されています。最近では放送番組への積極的利用や、テレビへの活用としてソーシャルテレビという考え方も誕生しています。本企画では、このような状況を紹介し、今後の動向や活用の可能性を探ります。

【プログラム】

司会：藤沢 寛（NHK）

S3-1 ネットとテレビの融合したソーシャルテレビ時代が来る!!
山崎秀夫（野村総研） 9:30-10:00

S3-2 サービスサイエンスから見たソーシャルメディア
日高一義（東工大） 10:00-10:30

S3-3 集合知を用いた情報循環系サービス（アットコスメを事例に）
山田メユミ（アイスタイル） 10:40-11:10

S3-4 ソーシャルメディアからの情報抽出
山名早人（早大） 11:10-11:40

S3-5 ソーシャルテレビサービスに向けた放送局の取り組み ～teleda～
浜口齊周（NHK） 11:40-12:10

◆シンポジウム4

『起業における創造的人材の育成』

8月26日(金) 13:00-17:30 8号館 4階 第1会場

これまで、アントレ研では、起業工学研究者の活動支援を進めてまいりました。その活動の一環として、2000年の研究委員会発足以来、啓蒙活動を兼ねて年次大会、冬季大会でシンポジウムを開催し、活発な議論を行っております。

今回は、起業や新規事業開発に適した人材の育成・輩出に焦点をあて、産官学の著名な講師陣より事例紹介と今後に向けた提言をいただき、議論を進める予定です。なお、今回は、本年3月の震災からの復興に向けてのエールとして、2件の基調講演を行うことといたしました。

【プログラム】

開会挨拶 冨澤 治(アントレプレナー・エンジニアリング研究会委員長, 高知工科大)

司会: 中原新太郎(三菱電機)

S4-1 [基調講演1] 電磁気手法を用いた地震予知

早川正士(電通大) 13:05-13:55

S4-2 [基調講演2] 被災地と映像情報メディア

会田和子(いわきテレワークセンター) 13:55-14:45

S4-3 起業における創造的人材の育成

八幡恵介(IAI ジャパン) 14:55-15:45

司会: 林 泰仁(NTT)

S4-4 大阪大学 協働育成型イノベーション創出リーダー養成プロジェクト<CLIC>

吉田耕治(阪大) 15:45-16:35

S4-5 富士通におけるイノベーション型教育の実践

上野新滋(富士通ユニバーシティ) 16:35-17:25

閉会挨拶 倉重光宏(山口県産業技術センター)

◆最新の研究・開発成果 147 件の講演◆

【第1部門 メディア処理1】・・・8件

8月24日(水) 9:00-11:50 8号館 4階 第2会場

【第2部門 ヒューマンインフォメーション1】・・・12件

8月24日(水) 13:00-17:15 8号館 4階 第2会場

【第3部門 符号化・復号化】・・・9件

8月24日(水) 9:00-12:10 8号館 4階 第3会場

【第4部門 映像表現&立体映像技術】・・・10件

8月24日(水) 13:00-16:30 8号館 4階 第3会場

【第5部門 情報ディスプレイ】・・・10件

8月24日(水) 9:00-12:35 8号館 3階 第4会場

【第6部門 画像処理1】・・・11件

8月24日(水) 13:00-16:50 8号館 3階 第4会場

【第7部門 放送方式】・・・12件

8月24日(水) 13:00-17:15 8号館 3階 第5会場

【第8部門 メディア処理2】・・・8件

8月25日(木) 9:00-11:50 8号館 4階 第2会場

【第9部門 ヒューマンインフォメーション2】・・・10件

8月25日(木) 9:00-12:30 8号館 4階 第3会場

【第10部門 画像処理2】・・・11件

8月26日(金) 13:00-16:50 8号館 4階 第2会場
【第11部門 放送現業&放送通信連携技術】・・・12件
8月26日(金) 13:00-17:10 4階 第3会場
【第12部門 コンシューマエレクトロニクス&マルチメディアストレージ】・・・10件
8月26日(金) 13:00-16:35 8号館 3階 第4会場
【第13部門 無線・光伝送】・・・12件
8月26日(金) 13:00-17:15 8号館 3階 第5会場
【第14部門 情報センシング】・・・12件
8月26日(金) 13:00-17:15 8号館 3階 第6会場

2011年年度大会部門配置

		午前	午後
8月 24日 (水)	第1 会場	S 1. 体感, インタラクティブメディア 9:30-12:30	S 2. テレビとネット動画～共存か競合か～ 14:00～17:00
	第2 会場	1. メディア処理 1 9:00-11:50	2. ヒューマンインフォメーション 1 13:00～17:15
	第3 会場	3. 符号化・復号化 9:00-12:10	4. 映像表現&立体映像技術 13:00～16:30
	第4 会場	5. 情報ディスプレイ 9:00-12:35	6. 画像処理 1 13:00～16:50
	第5 会場		7. 放送方式 13:00～17:15
	第6 会場		
25日 (木)	第1 会場	S 3. ソーシャルネットワークとソーシ シャルテレビサービス 9:30-12:10	公開講演会 地上波テレビ放送～アナログの栄光とデジタルの期待～ (聴講無料) 4号館 ホール 13:00～15:50 公開市民講座 放送技術の発展と進化 ～東日本大震災の報道を支えた放送技術 (聴講無料) 4号館 ホール 16:00～17:00 懇親会 座談会：アナログ放送技術者による創成期振り返りのお話 学生食堂 17:10～
	第2 会場	8. メディア処理 2 9:00～11:50	
	第3 会場	9. ヒューマンインフォメーション 2 9:00～12:30	
	第4 会場		
	第5 会場		
	第6 会場		
26日 (金)	第1 会場		S 4. 起業における創造的人材の育成 13:00～17:30
	第2 会場		10. 画像処理 2 13:00～16:50
	第3 会場		11. 放送現業&放送通信連携技術 13:00～17:10
	第4 会場		12. コンシューマエレクトロニクス& マルチメディアストレージ 13:00～16:35
	第5 会場		13. 無線・光伝送 13:00～17:15
	第6 会場		14. 情報センシング 13:00～17:15

総合受付, 第1～6会場, 大会本部：8号館
 4階：総合受付, 第1, 第2, 第3会場, 大会本部
 3階：第4, 第5, 第6会場
 公開講演会, 公開市民講座：4号館 ホール
 懇親会：学生食堂 (学生会館)

● 喫煙場所
 ▲ 建物内全域禁煙
 ▲ 歩行喫煙禁止

